

九州地区技術研究会設立懇談会議事録

1 日時 平成22年3月4日(木) 12:00~13:00

2 場所 琉球大学

3 議事

(1) 今後の開催校について

平成21年度に九州地区総合技術研究会を開催した熊本大学の神澤氏から、九州地区技術研究会がこの地区の大学や高専間の技術者交流を活性化し、技術力の向上や技術補完関係を構築するのに有効である。熊本大学総合技術研究会以降の継続開催について要望が出され、下記の意見交換があった。

九州大：組織化がなく研究会の情報が入らない状況であり、今後検討する。

九工大：組織化間もないため、足元を固めることから始めたい。

九州地区国立大学協会が実施する技術職員研修との関係も整理しておく必要がないか。

長崎大：九州地区技術研究会は人材育成に効果的である。

佐賀大：担当することには今後検討していく。

大分大：平成24年度機器分析技術研究会の担当校であり開催不可能。参加は希望する。

宮崎大：外部評価においても技術的研修(技術習得)の必要性が上げられている。

鹿児島大：平成23年度に担当することについて、学部長の内諾済みである。

琉球大：組織化したばかりの状態です実験・実習&機器・分析技術研究会を開催した。

22年度スキルアップ研修の当番校でもあり、研究会を担当することには慎重な検討を要する。

沖縄高専：職員数や施設の問題で担当することは不可能ではあるが、参加は希望したい。

鹿児島高専：規模的に担当することは不可能ではあるが参加は希望したい。

大分高専：昨年度に実際の組織化を行ったため担当することは不可能ではあるが参加は

有明高専：規模的に担当することは不可能ではあるが、参加は希望したい。

久留米高専：昨年度に組織化したことや規模的に担当することは不可能ではあるが参加は希望したい。

佐世保高専：人員削減等のため規模的に担当することは不可能ではあるが、参加は希望する。

【意見交換まとめ】

九州地区技術研究会を継続開催して技術者交流を深めていくことに関して、九州地区工学部長会議の賛同も得ることができた。琉球大学での技術職員有志による意見交換でも賛同を得たことを受けて、下記の2項が決議された。

(2) 平成23年度九州地区技術研究会の担当校について

検討の結果、平成23年度の九州地区総合技術研究会の担当を鹿児島大にお願いすることになった。

(3) 研究会正式名称や運営会議名称、運営規約について

現在、「規約」がない状況で議論されているが、正式な規約を作る必要があるのではないかと意見があり、熊本大学総合技術研究会開催のおり「九州地区技術職員代表者会議」を開き、研究会の正式名称や運営会議名称も含めて、この中で検討することになった。

記録 上村実也(熊本大学)